

2023（令和5）年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	147350069	事業の開始年月日	平成18年3月1日
		指定年月日	平成18年3月1日
法人名	株式会社メディカルケアシステム		
事業所名	グループホームちいさな手横浜さかえ		
所在地	( 244-0841 ) 神奈川県横浜市栄区長沼町478-1		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	令和5年8月25日	評価結果 市町村受理日	令和6年12月6日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

いつも、笑顔で楽しく穏やかに入居者様と職員が共に生活にしております。日々、入居者様のご様子に注意し、細かいところまで目を配りケアを行っております。毎月、季節に合った、小レクリエーション大会を行っております。新聞も毎月作成し、ご家族様にもご覧頂けるように、必ずお一人お一人の写真を載せております。又、日々ナースが24時間体制で連絡でき、訪問の先生との連携を万全でございますので、入居者様、入居者様のご家族も勿論ですが、職員も安心して仕事をしております。フロアの床はフローリングですが、床暖房システムで、冬の寒い時期でも足元がひえず、空気もきれいな状態でおります。その空気が、24時間洗浄、除菌ができる陰圧機を使用しておりますので更に空気がとても綺麗な状態でございます。

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和5年9月25日	評価機関 評価決定日	令和5年11月29日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所はJR東海道線または横浜市営地下鉄「戸塚」駅東口から江ノ電バスに乗り「長沼」バス停で下車し、徒歩5分程の住宅地にあります。閑静な日当たりの良い環境です。

<優れている点>

今年度の目標として、入居者への丁寧な言葉づかい、5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）などに職員は取り組んでいます。入居者と家族の交流支援にも注力しています。7月に、参加者全員にコロナ抗原検査を実施し安全確認をした上で、フロアごとに家族会を実施して、久々に入居者と家族の交流を実現しています。当日は職員のアイデアで「家庭の不用品交換・じゃんけんゲーム・一緒に大海苔巻き作りに挑戦」などが大好評でした。安心安全な介護に向け、身体拘束委員会は隔月職員全員が参加して、各自が関心のある拘束事例を持ち寄り、事例発表をして相互に学び合っています。ベトナム人職員の育成では、日本語能力や介護知識・技能の向上に努め、3名が介護福祉士資格を取得しています。

<工夫点>

ハガキの宛名書き支援をしています。入居者が上手に描けたぬり絵を切り抜いて暑中見舞いに貼り、本人自筆の簡単な言葉を添えています。本人の言葉が書かれているハガキにより家族の喜びにつながっています。毎年消防署と連携し、火災・水害などを想定し、年2回避難訓練を実施しています。職員と入居者を交えて1階へ、また水害対策では2階への避難誘導訓練を実施し非常事態に備えています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	12～16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	17～23
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホームちいさな手横浜さかえ
ユニット名	1ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	クレドカードを毎朝唱和しております。そして、少しずつですが理念を理解する為に実際に行動しております。見えるか行動をし理念の浸透に心がけています。	今年度の事業所の取り組みは「言葉づかいに気を付ける・5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）・みんなでリーダー」を掲げ実践しています。特に入居者への丁寧な言葉づかいや、5Sの施設内の清掃活動に職員は注力し取り組んでいます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	年明けに必ず町内会長ご挨拶をし、前年度会議を書面でお渡ししております。町内会長さんとメールのやり取りもできるようになっております。	自治会の賛助会員になっています。今年度も引き続きコロナ禍の為、地域の諸行事は中止となり、入居者の参加には至っていません。自治会主催で実施している認知症講座では、今後参加し協力関係を強化する意向を持っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の認知症会に入居者様と職員とで参加させて頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ホームにてスタッフ会議をしております。取り組み評価など毎日申し送りの際に行っております。	今年9月から、外部関係者を交えて会議を再開しています。栄区高齢支援センター職員・地域ケアプラザ職員・民生委員・事業所関係者の参加を得ています。事業所の活動報告の他、地域での高齢者向け行事の案内などがあり、今後隔月実施する予定です。	地域行事への参加を検討していることにより、今後は町内会長などの参加を視野に、地域への声掛けを期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	区役所、保健所、消防署の方との交流がございます。（コロナについて、消防訓練について等々）	昨年はコロナ禍で行政との連携は電話やメール等で実施していましたが、今年度はやはり対面して協力関係を築くことが大事と考えています。栄区高齢者支援センターや地域包括支援センターに直接出向き、事業所の実情を報告し、協力関係を築いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	研修を行い理解しております。奥深い内容をスタッフ全員が調べ、発表をして、それを実際に活かせるようにしております。	玄関は事故防止の為施錠しています。外出願望が強い状況の時は、職員が同行して外出に対応しています。「身体拘束適正化委員会」は隔月フロアごとに、夜勤者を除き全職員が参加して、各自が関心のある拘束事例を持ち寄り、事例発表をして相互に学び合っています。「みんなでリーダー」の実践をしています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員のストレスがないように、気を付け、1対1でお話ができるような環境にしています。普段から職員から色々な話をしてくれております。	虐待防止については、身体拘束委員会と同日に研修しています。特に言葉による虐待について、事例を交えて職員に周知しています。「虐待防止チェックリスト」を毎年実施し注意喚起しています。職員との話し合いの場を作り、様々なストレスを溜めないように取り組んでいます。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	後見人の方が実際にいらっしゃるので職員も理解しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に必ず細やかな説明をしております。質疑応答はもちろんのことですが、契約の最後にお解りになったらサインと、印鑑をお願いしております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	アンケートやケアプランにご意見をご記入いただいております。	コロナ禍が続く状況下ですが、現在は家族からの要望を汲み、玄関で少人数・短時間の制限付きで直接の面会を実施しています。また、飲物はお茶・コーヒーなど熱を加えた飲料のみでしたが、要望を取り入れ、希望者にはスポーツドリンクを提供するなどの対応もしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回は必ずミーティングをしておりますので、意見交換もしております。	毎月のフロアー会議で話し合い意見交換しています。居室の家具の安全な配置など、職員の意見を反映しています。今年7月、参加者全員にコロナ抗原検査を実施し安全確認を取った上で、家族交流会を実施。職員は入居者・家族に喜んでもらえるようなアイデアを考案し、実施しています。	フロアごとに分けて実施した「家族会」では職員のアイデア「家庭の不用品交換・じゃんけんゲーム・大海苔巻き作り」などが大好評でした。次年度開催の要望を受け、継続した実施が期待されます。
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	モチベーションを上げるために面談やアンケートをして働きやすい環境に努めております。	職員の健康管理や勤務条件等を整備しています。管理者は職員の有給休暇の取得などに配慮すると共に、全員参加で時間外に実施する委員会は残業扱いとしています。ベトナム人の技能実習生の給与体系や社宅などの待遇も整備し、一時帰国などの長期休暇にも対応しています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本社にて研修を行っています。2人対応になれておらず、理想的な仕事を求めるスタッフもおりますが、2人体制や3人体制の動きになれ業務の効率化に努めるよう、サービス精神を損なわないよう声掛けを行っております。	法人は職員育成に注力し研修体系を整備し、新人から施設長まで定期的に研修を実施しています。事業所では職員に対し介護マニュアルを整備し、併せてOJTでフロアリーダーやベテラン職員が指導しています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	本社にて女性管理者対象会議をしてください、とても助かっております。近所の事業所の管理者とも交流を深めており、お互いに刺激を受け、時にストレス解消にもなるよう、話し合いを大切にしております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様には日々、不穏状態から穏やかに過ごして頂けるように様子を観察しながら精査し、より良い関係性や、環境へ努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	私共の初めての内覧のご訪問の際から問題点を吸い上げ、まずご家族様の問題点に着目し、ホームに入居する前に傾聴させて頂いております。その後も、お電話やお手紙のやり取りを行うことで、問題解決に向かうように心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所前のご家族のヒアリングをもとに、入居者様には医療機関の歯医者、訪問ドクター看護師、又はマッサージ、理美容など多職種連携を取り入れながら毎日のご様子次第では、ホームになれて頂いてからの取り入れるのか、すぐに必要なのかを見極めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	隣同士の居室の配置や、ADLのよって違いがありますが、特に食席の配置には日々の入居者様の体調などを要観察しながら、決めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月1回、一筆箋にてお一人1スタッフ担当をし、ご様子などをお伝えさせて頂いております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご訪問に頂いたり、お電話を頂いております。	コロナ禍が長引き、友人・知人との面会や馴染みの場所への外出を自粛しています。入居者の中にはぬいぐるみの犬や猫を大切に過ごしている人もいます。入居者が塗ったぬり絵をはがきに貼り、本人が一言添えた暑中見舞いを家族に出しています。家族の喜びや安心にもつなげています。	今後も本人主体の支援を継続されることが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食席で隣同士の関わり方には、かなり重要な点だと思っております。会話の中で、不穏になってしまう方穏やかな方もいらっしゃいますので、つど、スタッフにて誘導や移動もしていただいております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要以上にこちら側から連絡する事は出来ないが入居者様やご家族様からの相談や困っている事については、誠意を持って対応しております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中で思いや要望を聞き取り困難な場合は以前と同じような希望の時などスタッフで確認しております。	傾聴の姿勢で思いや希望を聞き取り、対応が可能か判断し実行しています。また、職員で話し合い、個別対応やレクリエーションに取り入れるなど対応の仕方を工夫し実施につなげています。重度化の進む人には何が心地良いのかを検討し、リクライニングチェアを用意した事例もあります。感情表現困難な人にはぬいぐるみに触れることで安心して過ごしてもらえるような工夫もしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の入居者様との話しの中での把握、ご家族様からの聞き取り、入居時に記入してもらった生活歴を見て把握しております。		
25		○暮らしの現状の把握	日々の個人記録や申し送りケアの中での様子観察により現状の把握に努めて		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	把握しております。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	月に一度ミーティングや話し合いを行い介護計画に反映しております	穏やかな生活の実現に向け成育歴や趣味を丁寧に聞き取りケアプランを作成しています。遂次看護師からアドバイスを受け月1回スタッフで入居者の状態を共有しています。6ヶ月ごとに見直し、大きな変更は家族と密接に連絡し合い納得いく計画策定に努めています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	気になることがあればスタッフで話し合いを記録に落としケアの統一に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご要望は出来る限り柔軟な姿勢で対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍の中、地域資源は活かすことができなかったかと思われます。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	出来ていると思います。入居者様とその家族等の希望をかかりつけ医師に細かく伝えている。	入居時に説明し事業所協力医に変更しています。内科は月2回、歯科と訪問看護師は週に1回の来訪があります。看護師は医師との情報共有に努め、健康状態をチェックしています。外来受診は家族同行が基本ですが緊急時は職員が同行し家族と連携し対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	出来ていると思います。入居者様とその家族等に看護師との連携も確立されており、緊急の連絡もスムーズに行えていると思われま。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にご家族様等への連絡を取り情報交換を行っております。退院時も退院前にご入居者様の体調を細かく情報を頂きホームにお戻りになれるよう分析し、ホームでの生活少しでも早く穏やかに過ごしていただけるよう努めております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご入居者様ご家族様には看取りの説明を入居時の説明をしております。ご入居者様の状態に応じてご家族さま、医師、看護師、スタッフと話し合い情報を共有し、ケアに取り組んでおります。	看取りの方針を定め入居時に説明しています。重度化の段階で医師の診察の上契約書を交わしています。看護師を中心にケアの確認をしながら進めています。記録を取り、振り返りをし、管理者はスタッフの心のケアにも配慮しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に緊急時のマニュアルを確認しスタッフ同士で話し合いを行い実践している。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練を実施しております。火災だけではなく地震や水害等も実施、スタッフで周知しております。	防災はマニュアルを作成し、年2回避難訓練を実施しています。火災・水害を想定し避難訓練ではマットやシートを使用し、避難方法の写真を記録し掲示するなどの工夫をしています。屋外の倉庫に防災備蓄品を保管しています。自治会の防災訓練に参加し地域協力しています。	防災品は備蓄されていますが、水・食糧・避難用具などの必要量や定期的な点検、保管場所の再検討などが期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お手伝いして下さっている利用者には、「助かっています」「いつもありがとうございます」とお礼を排泄時等は「出ましたね」「良かったですね」と声掛けにも気を付けております。	人格と個人の尊厳を重視したクレドカード（行動指針）を全職員が携帯し、毎朝唱和してその精神を大事にしています。入居者のプライバシーに配慮し、特に排泄時や入浴時に気を配っています。呼びかけは「～様」づけにすることで、後に続く会話の言葉を丁寧にする工夫をしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ピアノ演奏、TV鑑賞、お昼寝、など、ご自分の意思にお任せし決定しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お食事やおやつなど、眠れている時には、時間をずらして召し上がって頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人らしいお洋服を着て頂いたり、2か月に1回理美容の方がお見えになりカットをして頂いております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご家族様と一緒に昼食レクレーションをしたり、食器のかたづけや、食器を拭いていただいたり、テーブルを拭いていただくと気持ちよくされています。	昼食と夕食の献立、食材は業者委託し、加熱調理食材を使用しています。朝食は職員が作り温かい食事を提供しています。入居者は食器洗いやテーブル拭きなどを手伝っています。誕生日のケーキ、年末の寿司などは入居者がトッピングをするなど楽しんで食べられる工夫をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	入居者様の一人ひとりが食べる量水分量、食事形態を把握し支援している。体調管理に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	口腔ケアは声掛けをして行っており。できない方はスタッフにて行っております治療が必要な方は訪問歯科の支援も行っております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	車いすの方もおりスタッフ同士協力すること介助出来るよう努めております。尿意、便意がない入居者様にも時間を考えて誘導しております。出来るだけ自立に向けた支援を行っております。	排泄は、できるだけトイレでできるようにサポートをしています。時間を管理しトイレまで誘導し、オムツ使用の人も座薬を使用して1日1回は便座に座っています。丁寧な見守り、誘導をして排泄の自立に向けた支援をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	個々に応じて便秘予防と、対応時に服薬にてコントロールし、水分摂取量にも気を付けております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴前のバイタルチェックや、ご気分にも合わせ無理なく入浴しております。	週2回午前中入浴としています。個浴ですが脱衣場所もあり明るい浴室です。安全に配慮し2人対応での介助もしていますが、無理せず家族には清拭となる場合もあると説明し了解を得ています。入浴のリラックスした時の会話を大切にしています。入浴拒否の場合は声掛けを工夫しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その日の体調を考えながら見守り室内の温度調節などに気を配りながら安心して入眠されております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	1人一人ひとり処方されたお薬の内容を理解し、誤薬がないように職員同士の確認、ご本人の名前確認、日にちの確認をし、飲み込んだのを確認しその後も、体調の変化の気を付け、口腔ケアの流れの行動に努めております。副作用等変化がある際は看護師に報告相談を致しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日々の生活の中で自立を促し、掃除、洗濯、食器拭きなど、無理なく職員と行っています。入居者が得意になさっている、ピアノ演奏や合唱、ぬり絵、草むしりなど、ストレス解消になるように努めております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出が可能な限り、安全に介助しながら近所の公園などに行かれ、季節を感じております。	コロナ禍が長引き外出の機会は減っていますが、入居者1人にスタッフ1人の対応で散歩に出かけています。近くのコンビニエンスストアまで散歩を兼ねてヨーグルトを買いに出かける入居者もいます。ウッドデッキに出での日光浴など外気浴の工夫をしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の管理は行っておりません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様よりお電話を頂いて、和んでいただいております。おはがきに塗り絵などを貼り暑中見舞いのお手紙を送っております。			
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自由にお過ごしいただけるようご本人のお気持ちに沿うようにしております。毎月、壁掛け折り紙やポスターにて季節を感じて頂いております。又時折、生けばなを置いて季節を感じて頂いております。	建物は周囲から見通し良く、ウッドデッキ付きで室内は明るく開放的です。玄関や洗面部分に生け花を置きフロア壁面はカレンダーや季節を感じられる制作物を掲示しています。オープンキッチンでテーブル、ソファがあり、畳コーナーは休息や昼寝に利用しています。陰圧空気清浄機で環境管理しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアーには、3人掛けのソファや、和室があり、いつでも自由に座っていただいたり、時には横になり仮眠される方もいらっしゃいます。			
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご入居者様のお部屋はお写真や、テレビなどお好みのものを置かれております。	居室はエアコン、照明、クローゼットが備え付けで、入居者は小家具や好みのものを持ち込んでいます。開放感のある大きな掃き出し窓は、安全に配慮し10cm程の開閉に制限した作りとなっています。明るい色のフローリングは、床暖房機能があり、掃除と消毒をし清潔を保つよう努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレ、お風呂の配置などわかりやすいようにしております。時にはトイレのドアを開けご自身でいかれるよう自立した生活をして頂ければと行っております。足元には物を置かないよう安全に生活をしていただけるように心がけております。			

事業所名	グループホームちいさな手横浜さかえ
ユニット名	2ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			○ 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			○ 2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			○ 3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			○ 3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			○ 2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	クレドカードを毎朝唱和しております。そして、少しずつですが理念を理解する為に実際に行動しております。見えるか行動をし理念の浸透に心がけています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	年明けに必ず町内会長ご挨拶をし、前年度会議を書面でお渡ししております。町内会長さんとメールのやり取りもできるようになっております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の認知症会に入居者様と職員とで参加させて頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ホームにてスタッフ会議をしております。取組み評価など毎日申し送りの際に行っております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	区役所、保健所、消防署の方との交流がございます。(コロナについて、消防訓練について等々)		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	研修を行い理解しております。奥深い内容をスタッフ全員が調べ、発表をして、それを実際に活かせるようにしております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員のストレスがないように、気が付け、1対1でお話ができるような環境にしています。普段から職員から色々な話をしてくれております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	後見人の方が実際にいらっしゃるので職員も理解しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に必ず細やかな説明をしております。質疑応答はもちろんのことですが、契約の最後にお解りになったらサインと、印鑑をお願いしております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	アンケートやケアプランにご意見をご記入いただいております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回は必ずミーティングをしておりますので、意見交換もしております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	モチベーションを上げるために面談やアンケートをして働きやすい環境に努めております。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本社にて研修を行っています。2人対応になれておらず、理想的な仕事を求めるスタッフもおりますが、2人体制や3人体制の動きになれ業務の効率化に努めるよう、サービス精神を損なわないよう声掛けを行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	本社にて女性管理者対象会議をしてください、とても助かっております。近所の事業所の管理者とも交流を深めており、お互いに刺激を受け、時にストレス解消にもなるよう、話し合いを大切にしております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様には日々、不穏状態から穏やかに過ごして頂けるように様子を観察しながら精査し、より良い関係性や、環境へ努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	私共の初めての内覧のご訪問の際から問題点を吸い上げ、まずご家族様の問題点に着目し、ホームに入居する前に傾聴させて頂いております。その後も、お電話やお手紙のやり取りを行うことで、問題解決に向かうように心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所前のご家族のヒアリングをもとに、入居者様には医療機関の歯医者、訪問ドクター看護師、又はマッサージ、理美容など多職種連携を取り入れながら毎日のご様子次第では、ホームになれた頂いてからの取り入れるのか、すぐに必要なのかを見極めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	隣同士の居室の配置や、ADLのよって違いがありますが、特に食席の配置には日々入居者様の体調などを要観察しながら、決めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月1回、一筆箋にてお一人1スタッフ担当をし、ご様子などをお伝えさせて頂いております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	ご訪問に頂いたり、お電話を頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食席で隣同士の関わり方には、かなり重要な点だと思っております。会話の中で、不穏になってしまう方穏やかな方もいらっしゃいますので、つど、スタッフにて誘導や移動もしていただいております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	必要以上にこちら側から連絡する事は出来ないが入居者様やご家族様からの相談や困っている事については、誠意を持って対応しております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中で思いや要望を聞き取り困難な場合は以前同じような希望の時などスタッフかんで確認をしております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の入居者様との話しの中での把握、ご家族様からの聞き取り、入居時に記入してもらった生活歴を見て把握しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の個人記録や申し送りケアの中での様子観察により現状の把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	月に一度ミーティングや話し合いを行い介護計画に反映しております		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	気になることがあればスタッフで話し合いを記録に落としケアの統一に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご要望なのは出来る限り柔軟な姿勢で対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍の中、地域資源は活かすことができなかったと思われます。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	出来ていると思います。入居者様とその家族等の希望をかかりつけ医師に細かく伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	出来ていると思います。入居者様とその家族等に看護師との連携も確立されており、緊急の連絡もスムーズに行えていると思われます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にご家族様等への連絡を取り情報交換を行っております。退院時も退院前にご入居者様の体調を細かく情報を頂きホームにお戻りになれるよう分析し、ホームでの生活少しでも早く穏やかにお過ごしいただけるよう努めております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご入居者様ご家族様には看取りの説明を入居時の説明をしております。ご入居者様の状態に応じてご家族さま、医師、看護師、スタッフと話し合い情報を共有し、ケアに取り組んでおります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に緊急時のマニュアルを確認しスタッフ同士で話し合いを行い実践している。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練を実施しております。火災だけではなく地震や水害等も実施、スタッフで周知しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お手伝いしていただきっている利用者には、「助かっています」「いつもありがとうございます」とお礼を排泄時等は「出ましたね」「良かったですね」と声掛けにも気を付けております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ピアノ演奏、TV鑑賞、お昼寝、など、ご自分の意思にお任せし決定しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お食事やおやつなど、眠れている時には、時間をずらして召し上がって頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人らしいお洋服を着て頂いたり、2か月に1回理美容の方がお見えになりカットをして頂いております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご家族様と一緒に昼食レクリエーションをしたり、食器のかてづけや、食器を拭いていただいたり、テーブルを拭いていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	入居様様の一人ひとりが食べる量水分量、食事形態を把握し支援している。体調管理に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	口腔ケアは声掛けをして行っており。できない方はスタッフにて行っております治療が必要な方は訪問歯科の支援も行っております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	車いすの方もおりスタッフ同士協力すること介助出来るよう努めております。尿意、便意がない入居者様にも時間を考えて誘導しております。出来るだけ自立に向けた支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	個々に応じて便秘予防と、対応時に服薬にてコントロールし、水分摂取量にも気を付けております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴前のバイタルチェックや、ご気分にも合わせ無理なく入浴しております。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その日の体調を考えながら見守り室内の温度調節などに気を配りながら安心して入眠されております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	1人一人ひとり処方されたお薬の内容を理解し、誤薬がないように職員同士の確認、ご本人の名前確認、日にちの確認をし、飲み込んだのを確認しその後も、体調の変化の気を付け、口腔ケアの流れの行動に努めております。副作用等変化がある際は看護師に報告相談を致しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日々の生活の中で自立を促し、掃除、洗濯、食器拭きなど、無理なく職員と行っています。入居者様が得意になさっている、ピアノ演奏や合唱、ぬり絵、草むしりなど、ストレス解消になるように努めております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出が可能な限り、安全に介助しながら近所の公園などに行かれ、季節を感じております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金の管理は行っておりません。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族様よりお電話を頂いて、和んでいただいております。おはがきに塗り絵などを貼り暑中見舞いのお手紙を送っております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自由にお過ごしいただけるようご本人のお気持ちに沿うようにしております。毎月、壁掛け折り紙やポスターにて季節を感じて頂いております。又時折、生けばなを置いて季節を感じて頂いております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアーには、3人掛けのソファや、和室があり、いつでも自由に座っていただいたり、時には横になり仮眠される方もいらっしゃいます。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご入居者様のお部屋はお写真や、テレビなどお好みのものを置かせております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレ、お風呂の配置などわかりやすいようにしております。時にはトイレのドアを開けご自身でいかれるよう自立した生活をして頂ければと行っております。足元には物を置かないよう安全に生活をしていただけるように心がけております。		

2023年度

事業所名 グループホームちいさな手横浜さかえ  
 作成日： 2023年 11月 30 日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	事業所と自治会等のつながりのなかで交流を深めていく。運営推進会議を行う。(参加：区役所担当者様、包括担当者様、自治会関係、ご家族様)	自治会の消防訓練の参加 中学生の職場体験での交流等々	12ヶ月
2	21	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、1人ひとり孤立せず利用者同士が関わり合い、支えあえるような支援に努めている。	食席には気を付けて両隣の方との関係には特に気を配る。中には不穏などスタッフにて誘導や移動をして頂いて穏やかな関係性になるよう気を配る。	お話しがきる方だけでなく、聞いたり、見たりの行動範囲や生活感の中での、要観察をし穏やかに過ごして頂く。問題点があれば即、取り上げ問題解決にむけて話し合う。	3ヶ月
3	46	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ち良く眠れるよう支援している。	その日の体調管理のもと、室内や廊下など温度調整に気を配り、食後など、和室や、ソファー、居室などご本人の意思を尊重し安眠、休息に努める。	夜、あまり寝ていない方やフロアーにて傾眠状態の方など、ご様子を見てこえかけにて、誘導、移動していただき安眠や休息をして頂く。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月